

社長令嬢・被虐のバカンス

作画・うさぎね工房

昭和猟奇譚

女犯仕置人哲夫

《第2話》

【恥虐調教編】

Nightmare Express - 悪夢の宅配便

避暑地の別荘に向かう途中、謎の覆面男に拉致暴行を受けカージャックされた社長令嬢倉崎綾乃（23歳）

男はそのまま綾乃を別荘内に連れ込んだ……



カチカチ
そろ、さっさと入りな……

別荘の敷地内は全くの無人だと下調べしてある。

…ウ、ウグウ……



——パイプを突っ込んだままの悪路ドライブは楽しめたかな？



んんん……っ

…こいつはひどい濡れ具合だなあ。

とりあえずシャワーでも使うとするか。





—男は
綾乃を追い立て、
バスルームへと
向かわせた。

馴染んでいる筈の
廊下が綾乃の足裏に
冷たく異様な感触を
与えてくる

なかなか
広い別荘
だぜ



風呂場に
案内しな。

ウウ...

ズズ...



ここか...

隅までキレイに
洗ってやるから
大人しくしてな。



ハア
ハア

...



ふふふ...

…後で色々
探索してみる
必要があるな。

綾乃を浴室に
放り込むと男は
冷水シャワーを
全身に浴びせた。

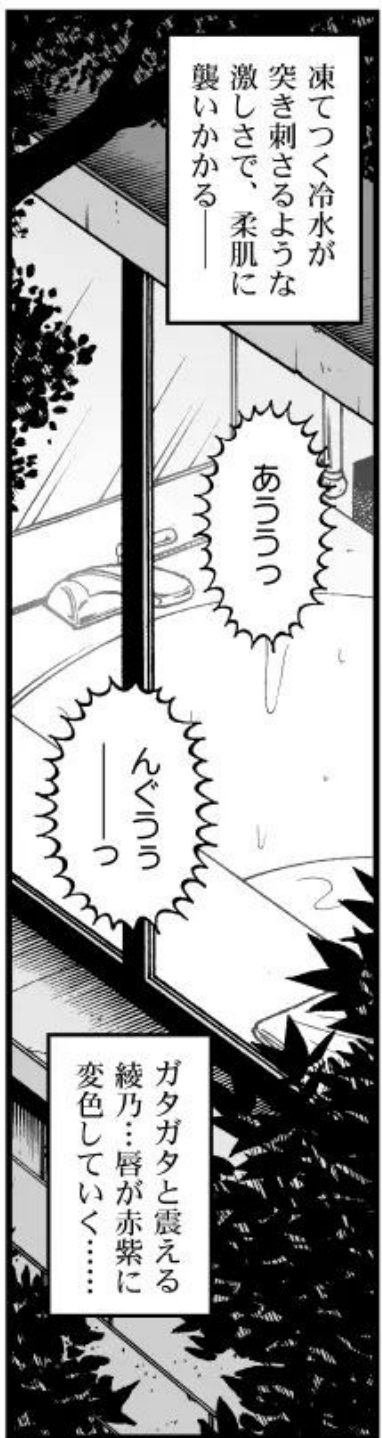
ヒイイイ
——
ッ!

ウガッ、
ンガガ——
ッ

この水道は
地下水を使って
いるようだなあ

……いつは
湧き水同然の
冷たさだぜ!





ぐあぁっ！



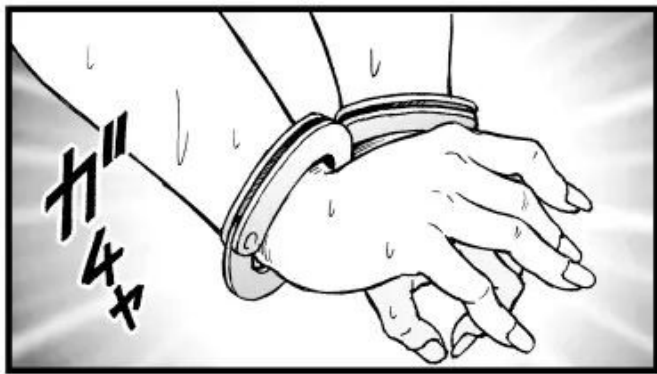
綾乃の拘束を一旦解くと、手錠を嵌めた。

まずは内側からだ。



すっかり体が冷えちまったようだなー

今度は温水で温めてやるとするか。



——そり、もっと尻を持ち上げな。

うじうじー
あめあめー

いやあっ
んんっ

ホースの口を軽く
触れさせるだけで、
温流が後門を開き
注がれて行く——

内部に突っ込む
必要はない——

んんあ
——っ

洩らすなよ、
できるだけ
我慢しろ！

すぐに出したら
罰ゲームを
やって貰うぜ。

だ、だっ、
だめえ——っ

あああああ
——っ

グウウウ
——クッ





薄いとは言え、
少々目障りな
シモの毛を…

自分の手で
剃り上げて
貰おうか。

え、
ええっ!?



洩らしたら
罰ゲームと
言った筈だ。

—ふむ、
そっだな。



ちよいと俺は
別荘内を一回り
してくるぜ…

俺が戻るまでに
ツルツルにして
おけよ。

1本でも残ってたら
お仕置き追加だ…
覚悟しておけ!



左手のみで
惨めな行為を
行わなければ
ならない—

剃毛用具を前に
片手だけを自由に
された綾乃を残し、
風呂場を出る男…

…うっつ、
そんな…

……男は建物内を
一通り探索すると
ある所に電話した。

——ああ、今
風呂場で剃毛
させてる所だ。

予定通り荷物と
撮影器具を明日
運んで来てくれ。

……もちろん、
あなたにも
参加して貰う。

カ
カ
カ
カ
カ
カ

さて、そろそろ
お嬢様のシモの
手入れも終わった
頃だろう——

……どうだ？
オ××コの毛を
一本残らずに
剃り終えたか？

はい、
はい……

綾乃は力なく
うなだれて
返事をする……





—よし、
点検して
やろっ…

しっかり手で
拵げたままに
しているよ…

…おいおい、
尻の穴のまわりに
—三本残っている
じゃないか—

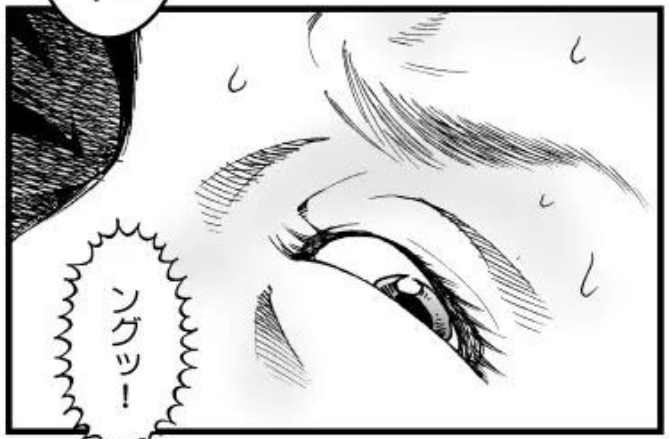
こいつは、
お仕置きの
追加だなあ。

仰向けになつて
股ぐらをガバツと
拵げてみせろ！

う、
う…
う…



…最後の
仕上げだ。



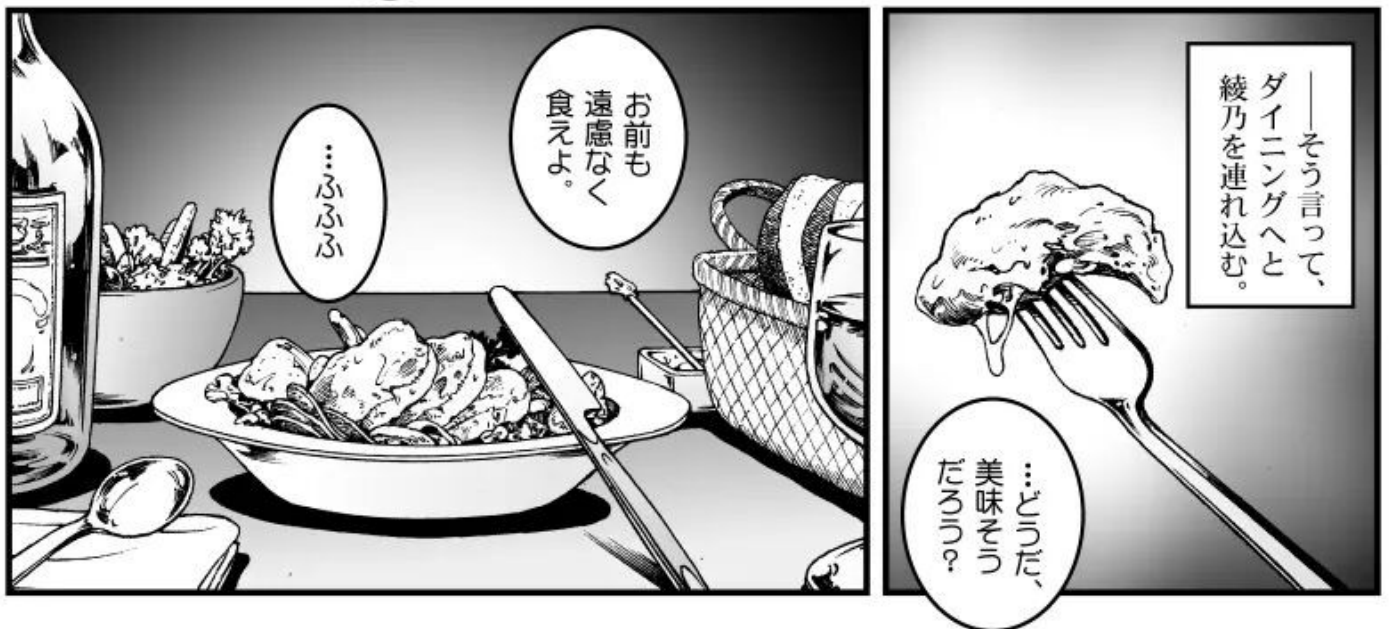
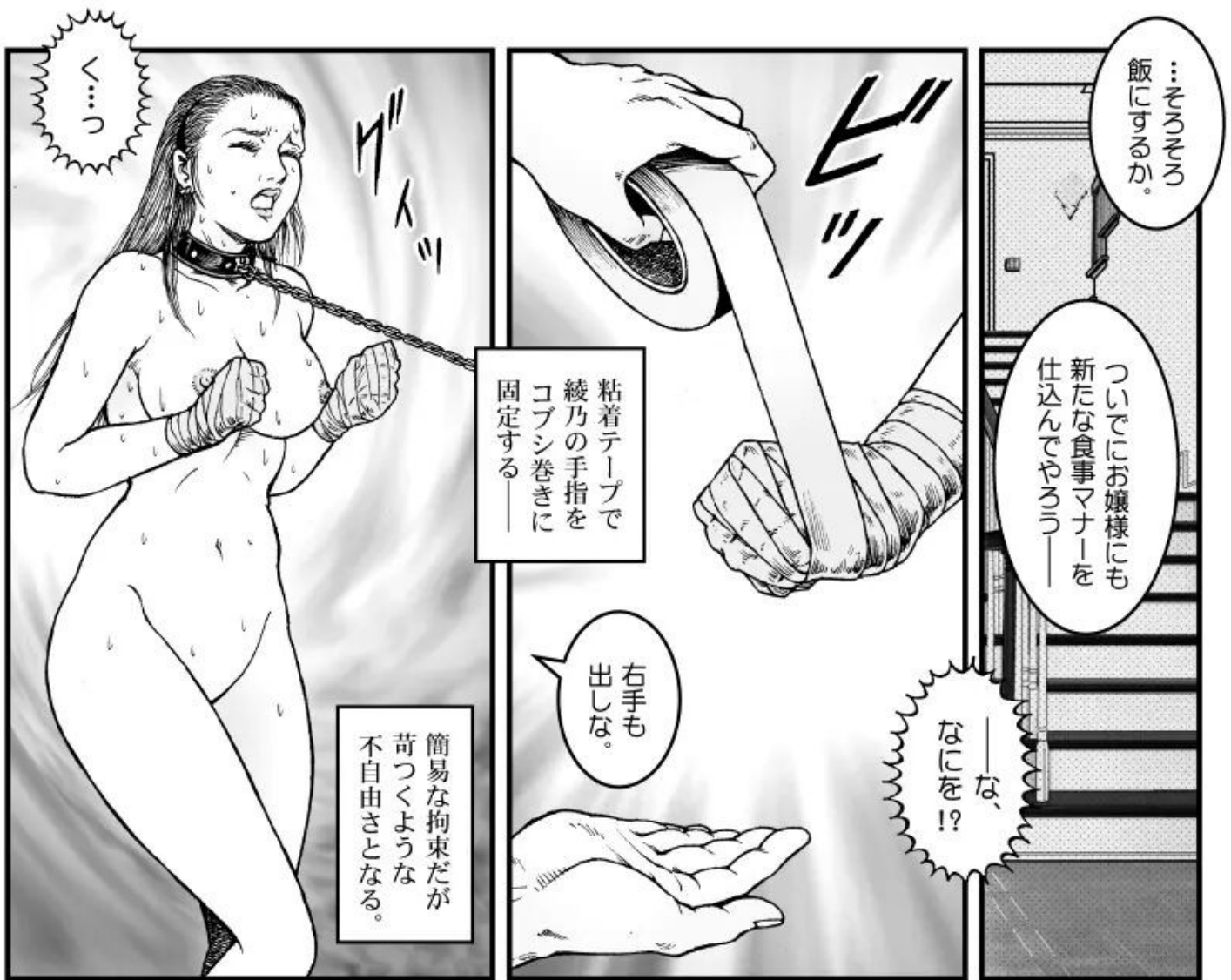
ンゲッ！



ふふふつ、
御令嬢に相応しい
ツルツルの土手が
できあがったな…

男は残った陰毛を
全部引き抜くと
浴室から綾乃を
解放する—

辺りはすっかり
夜となっていた。





男は洗面器にぶちまけた料理を犬のように喰えと綾乃に命令した。

せっかく俺様が作った料理だ…残さず平らげろ。

体力をつけなきゃ1週間の調教には耐えられないぜ！



牝犬モドキに墜ちた気分はどうかな？



ふふふ、牝犬モドキ…じゃ不満って顔だなあ。



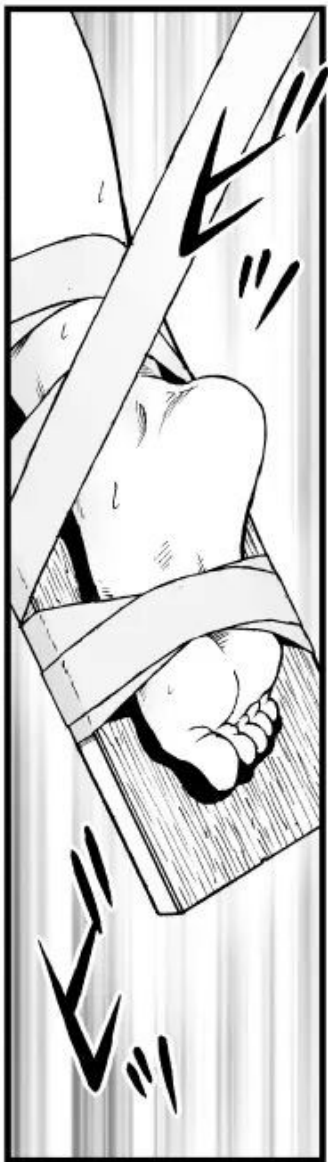
…それじゃあ立派な牝犬になれるよう、躡してやろう。

!?



：男は板片を
2枚持ち出すと、
テープで綾乃の
脛に密着させた。

アキレス腱と
爪先が固定され、
立ち上がる事は
全く可能になる。

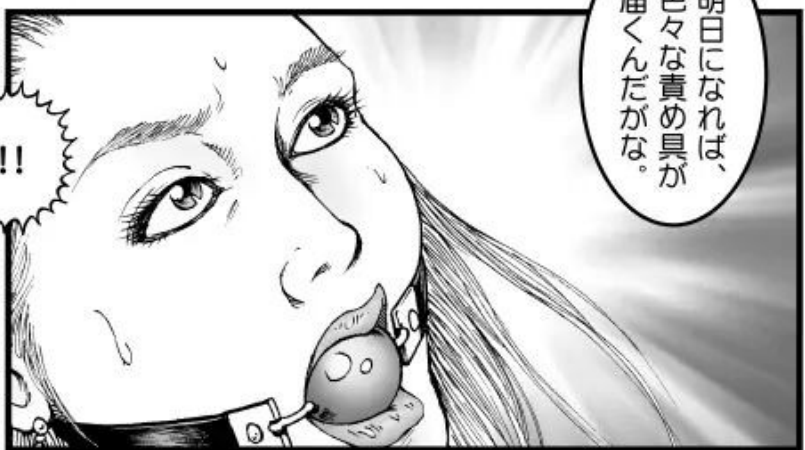


ん？
何を驚いた
顔している。

こんな広い別荘だ…
一人や二人、客人が
あってもおかしくは
ないだろう…フフフ。



ふふふ…
手持ちの道具に
限りがあるから
工夫が必要だぜ。



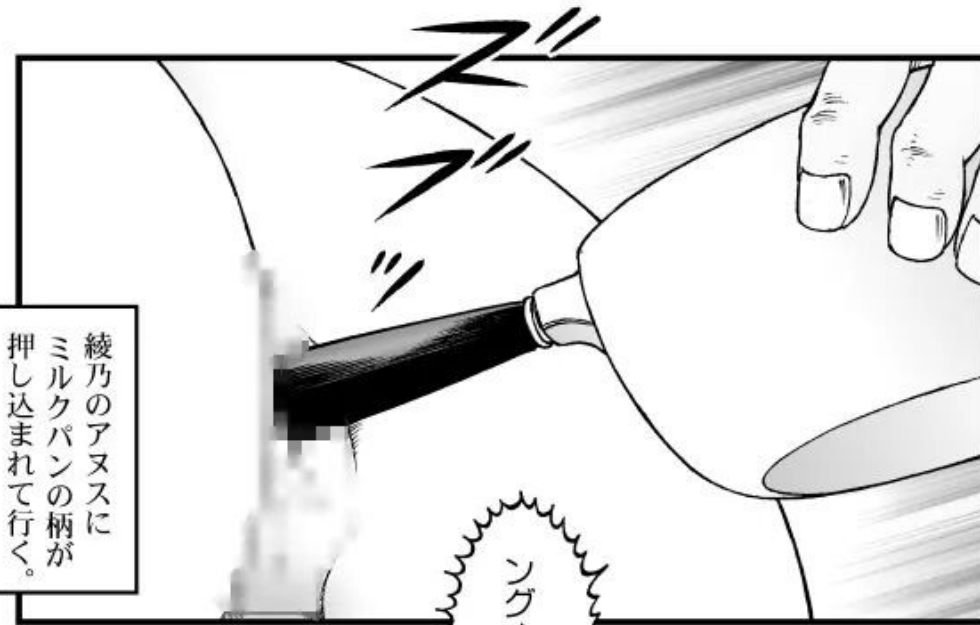
明日になれば、
色々な責め具が
届くんだがな。

!!

牝犬のシツポ用には
スリコギが定番だが、
こいつでもいいかな。

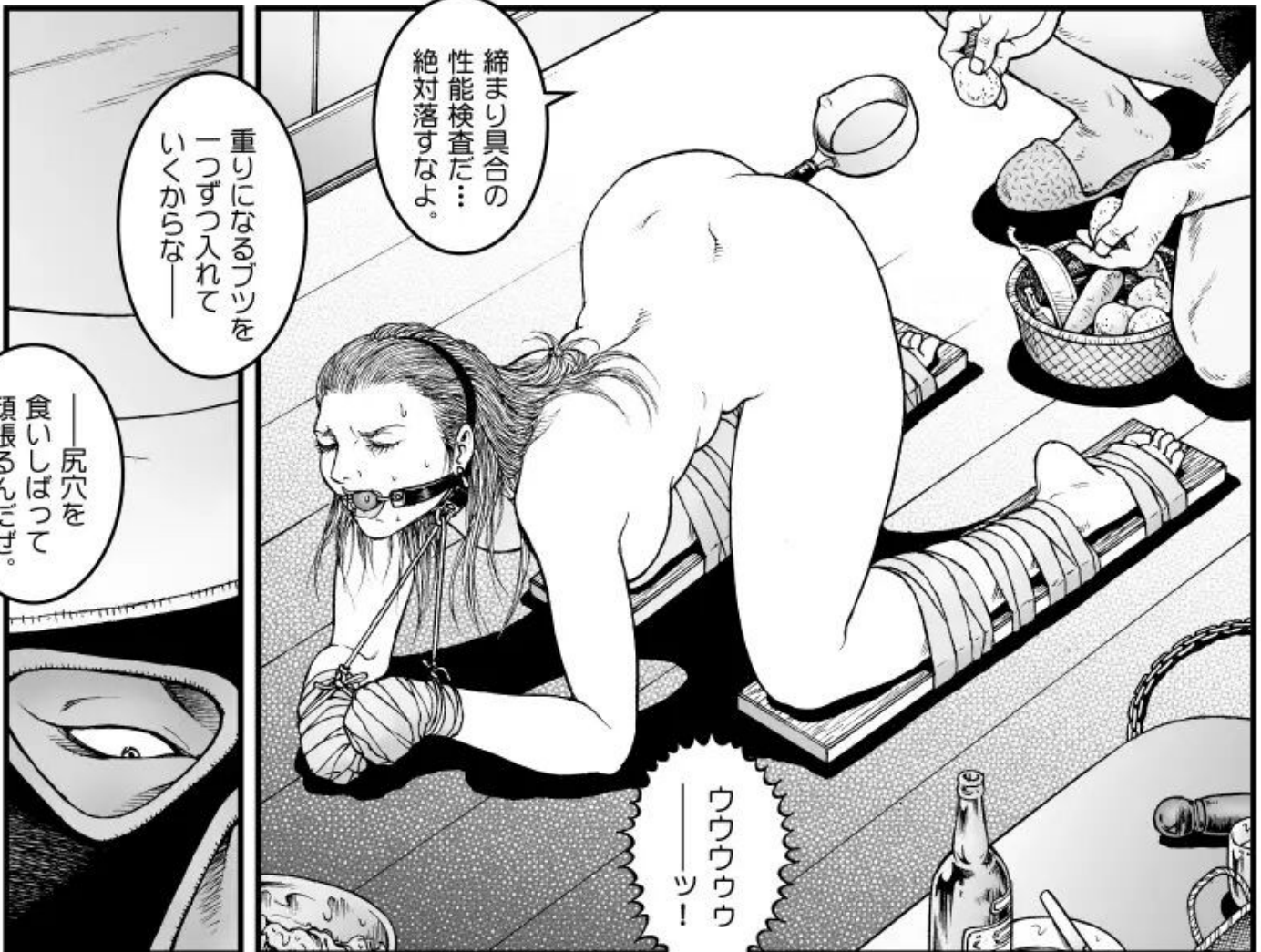
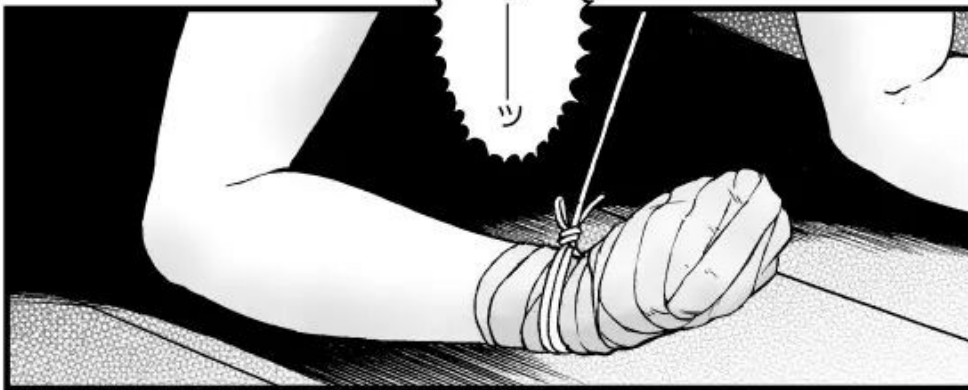


男は小ぶりの
ミルクパンを
持ち出す――



綾乃のアヌスに
ミルクパンの柄が
押し込まれて行く。

ングウーッ



締まり具合の
性能検査だ！
絶対落すなよ。

重りになるブツを
一つずつ入れて
いくからな――

――尻穴を
食いしばって
頑張るんだぜ。

ウウウウ
ッ！





落下の衝撃と重みで
ミルクパンの柄が
直腸内部を掻き回す。



…うじした、
もう、泣きが
入ったのか？



—なんだ、
だらしない
尻穴だな…

もう一度、
初めから
やり直した。



男は脛板と手の
テープを剥がし、
ベッドルームに
綾乃を連れ込む。

……ん
ぐんぐん

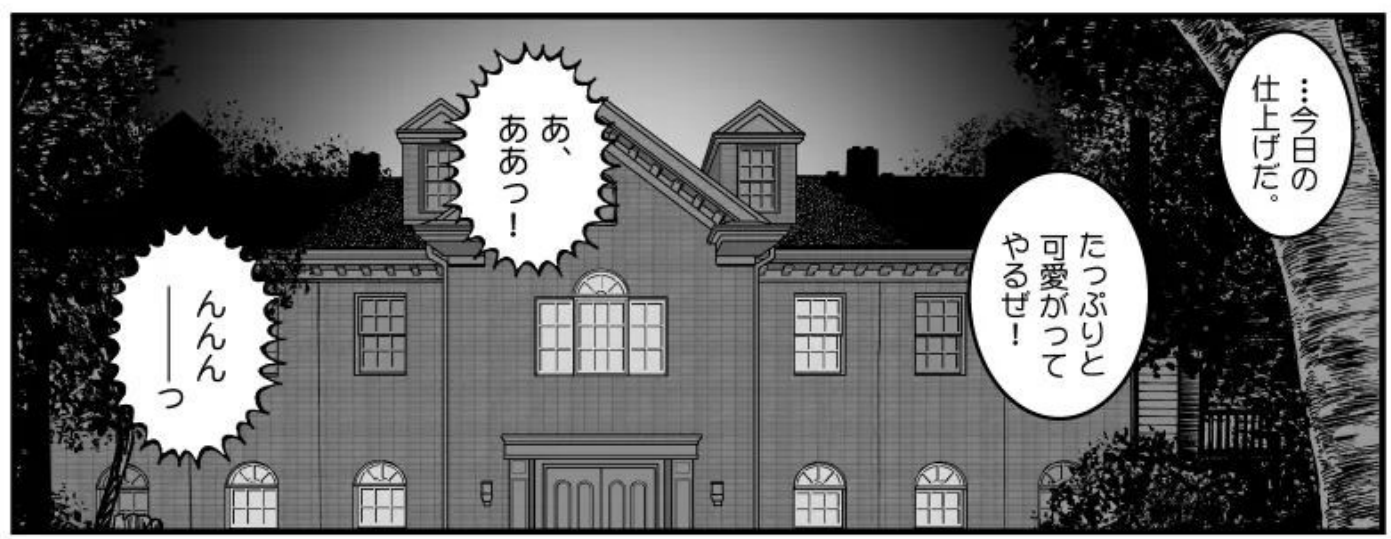
——そろ、
さっさと
入るんだ。



牝犬アナル責めが
繰り返されると、
綾乃は完全屈服の
態度を男にみせた。

そっか、何でも
言う事を聞くと
約束するんだな。

明日から一週間、
性奴隷の調教を
喜んで受ける
誓う訳だな…？



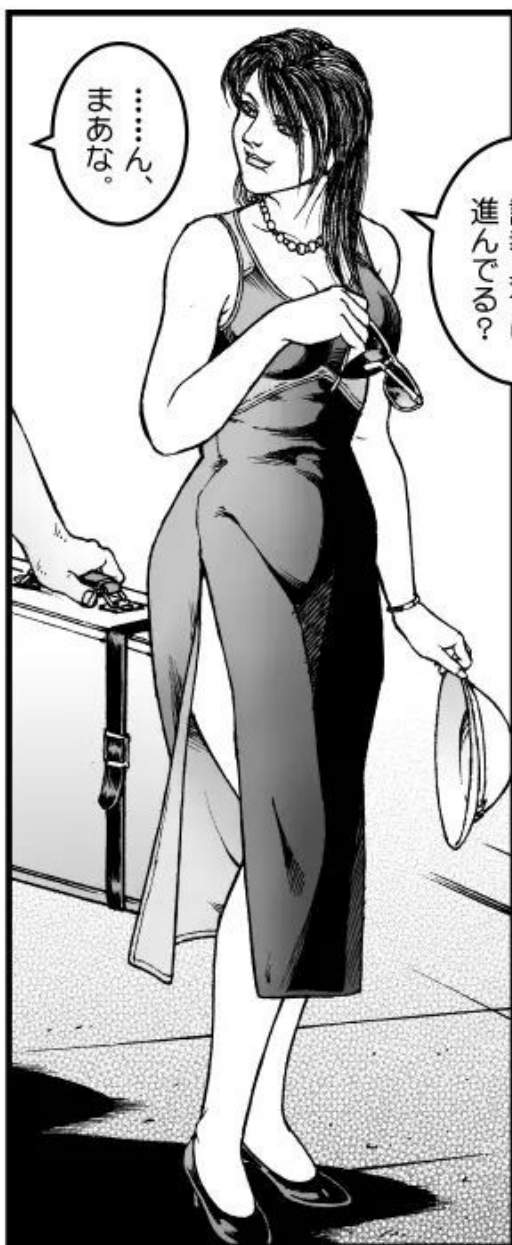
……今日の
仕上げだ。

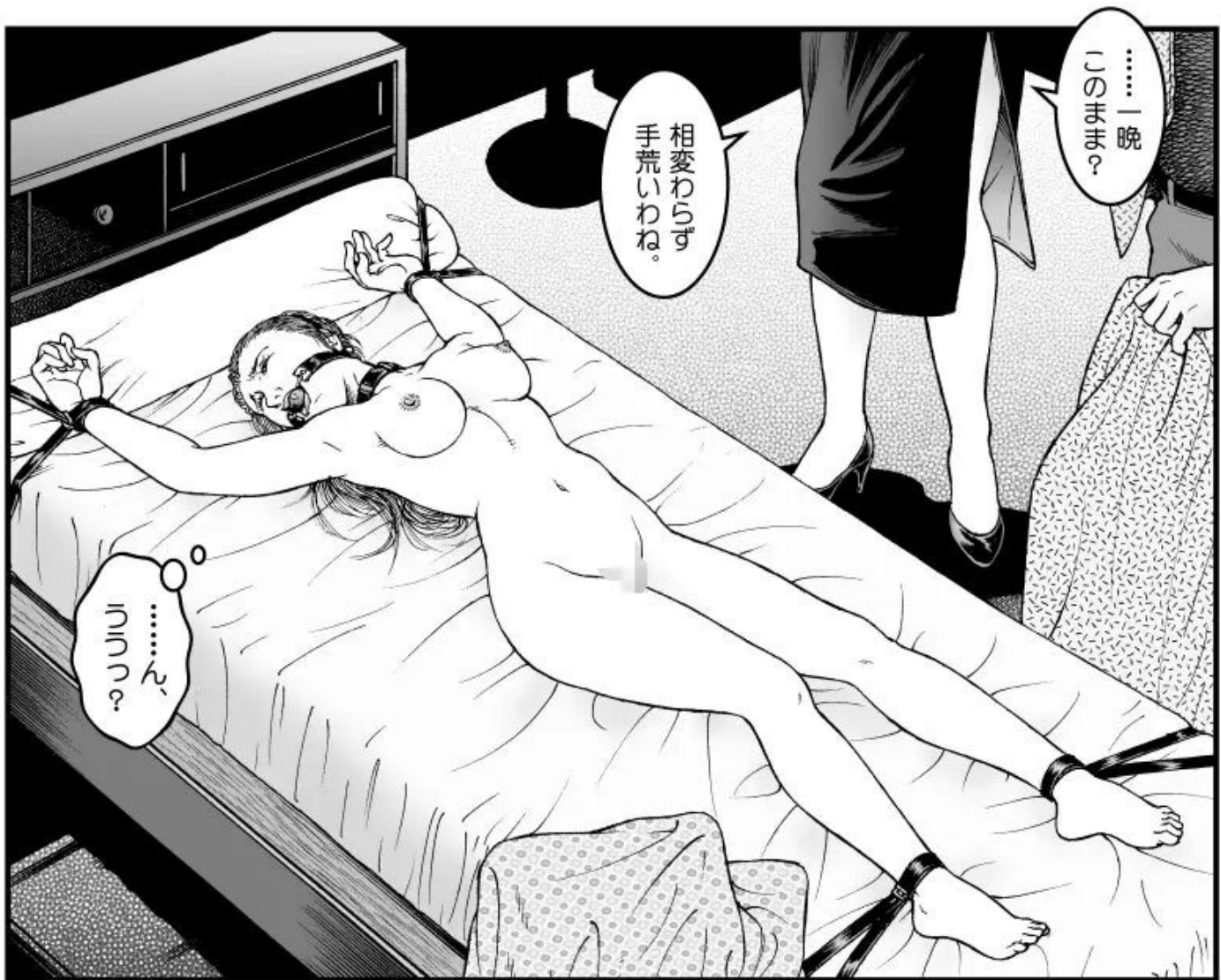
たつぷりと
可愛がって
やるぜ！

あ、
ああつ！

……ん
んん
っ









お知れぬほど
11 様様へ
ごめんなさい

ジュッ

ジュッ

その様子を男は
淡々とビデオで
撮影している…



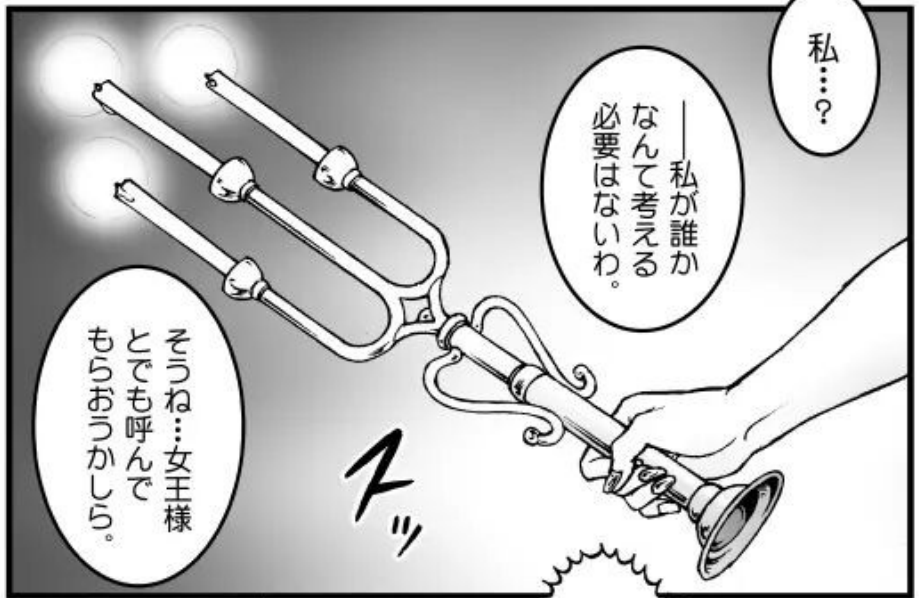
な、
なんでも
しませう



ジュッ
ジュッ



わかったわね？
さあ…ご挨拶は
どうしたの？



私…？

—私が誰か
なんて考える
必要はないわ。

そつね…女王様
とても呼んで
もらおうかしら。

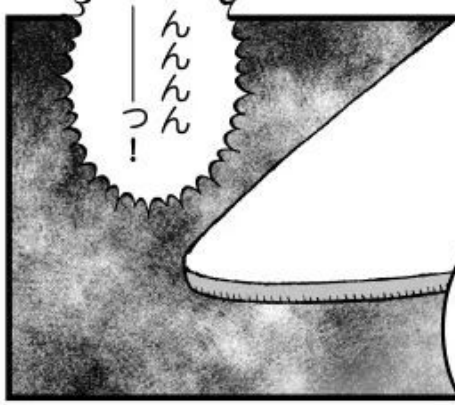
アッ



ひびく
—
じ、じよつ、
女王様っ！

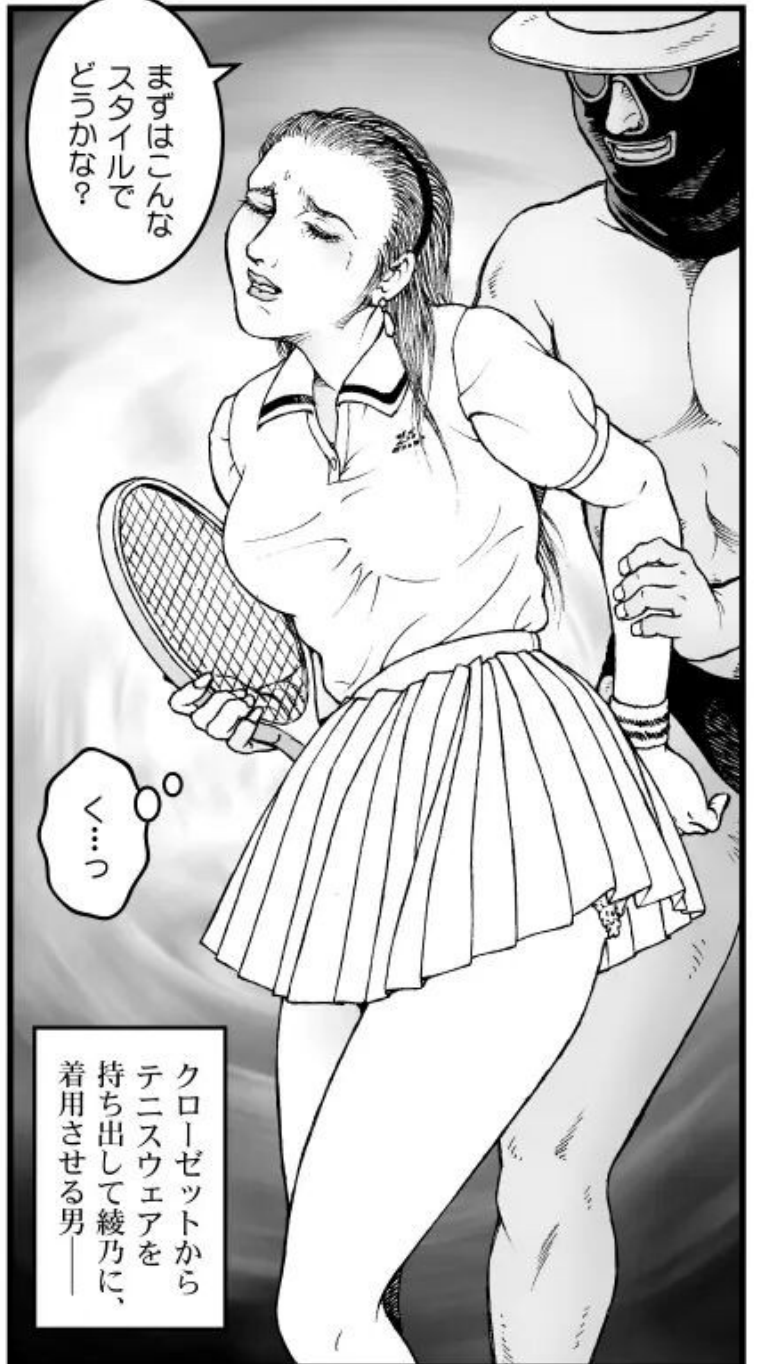
御調教…よつ、
宜しくお願い
致しますうっ！

西洋蠟燭の熱蠟を
浴びせられながら、
綾乃は女が命じる
ままに、服従の
言葉を叫んでいた。



んんん
—
っ！

……

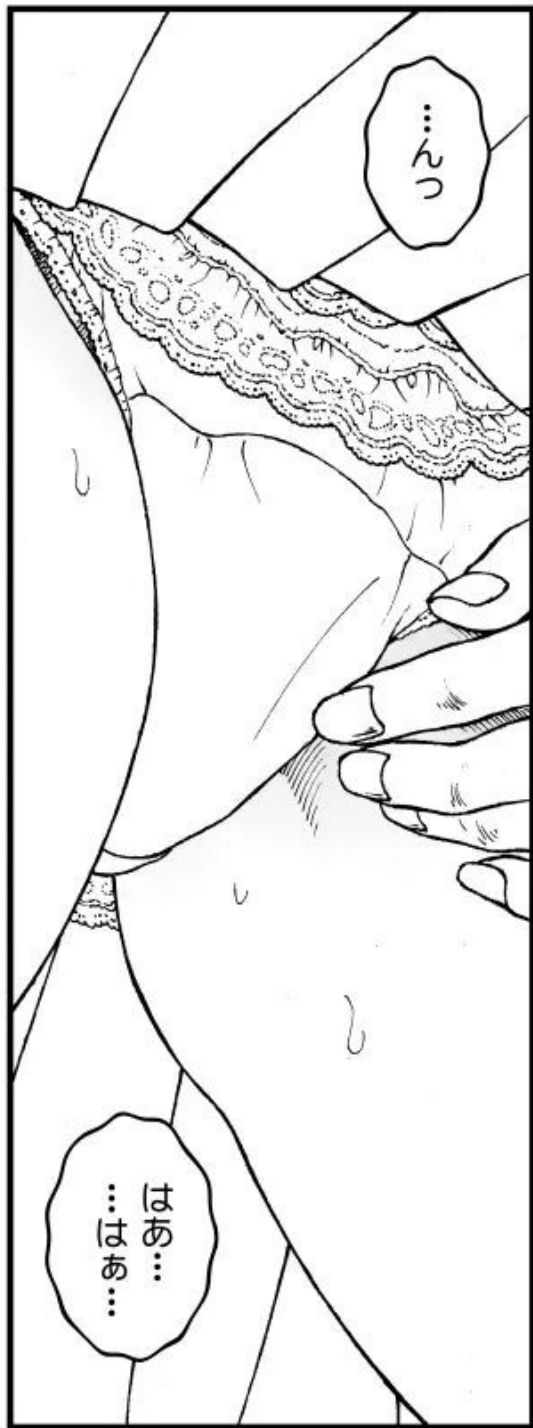




カメラの前での
オニーを命じ
られた綾乃――

テニスウェアの
上から背中を
まさぐり喘ぐ…

あ……ん
……あつ



……んっ

はあ…
……はあ…



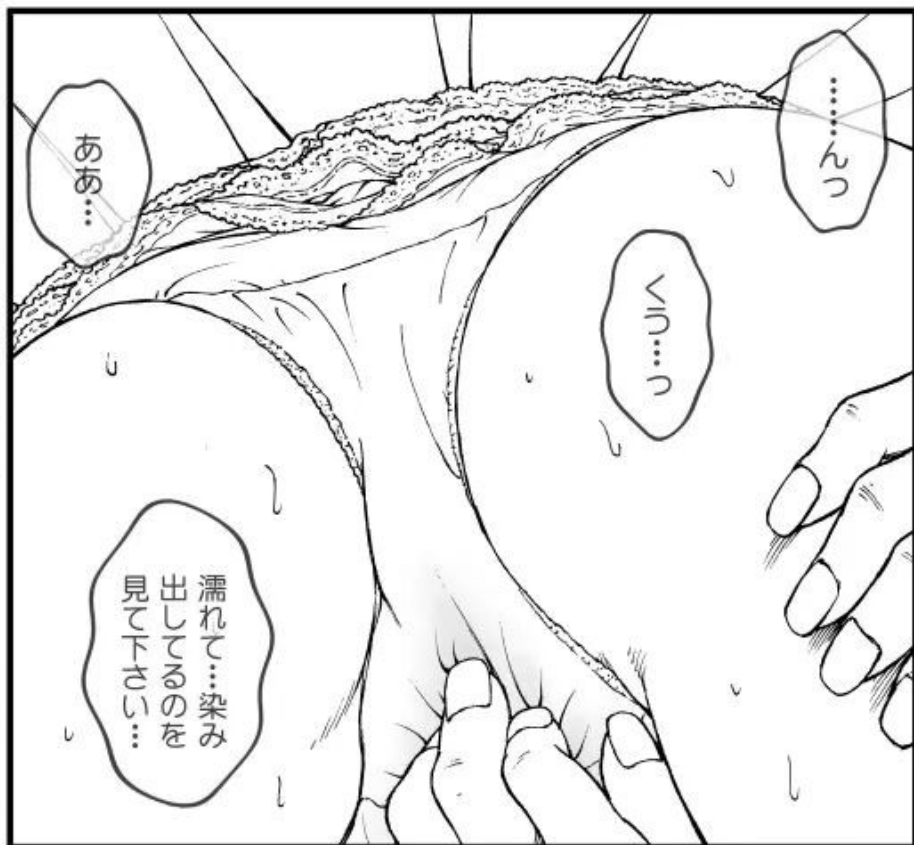
んんっ



……んっ



アンダーコートを
直穿きにさせたから
蜜染みが拡がると
透けてくるのよね…



口答えは勿論、
質問も一切
禁止だからね。

今から許可するのは
『はい』『女王様』
『わかりました』
『お願いします』のみ。

私が命じる以外に、
余計な言葉を
吐くんじやないよ。

は、はい…
女王様…っ

いやらしい
穴を調べて
あげるわ…

…すっかり
出来上がって
いるじゃない。

確かにコレじゃ、
もっと強い刺激が
欲しくもなるわね。

あああ—っ、
じよ、女王様
お願いしますっ

ん
じゅっ









んん——っ

じよ、
女王様っ

あめあめ
——っ

…お願い
しま…すっ

い…あっ、
んんんっ

お、お願い
しますっ

んんん

激しいディルドーの
抽送を受け止めながら、
綾乃は理性を振り切る
ように叫び続けた——

ふふふ……
思っていた以上に
素質があるようだ。

女を雇った
甲斐が
あったせ……





金や権力で何でも
思い通りになると
いう考えにお灸を
据えてあげるわ…



ペ〇スバンドによる
女の凌辱が終ると、
綾乃は強固な緊縛を
施されて荷物部屋に
放り込まれた――

う、うん
うん

ホホホ――
「こんな苦じや」
…って顔ね？



バカンスは
…まだまだ
これからだ。

フフフ――
あと6日は
あるからな。



な、何故？
どうして？